


ちびっこ冒険ひろば

ちび"冒"通信



第5号 2018年度夏

水遊びが人気の季節になってきました。たらいや、シートを利用したプールではハイハイの赤ちゃんから3歳まで夢中になって遊ぶ姿がみられます。パイプ椅子を並べて洗車のように洗ってみたり、まねっこして1歳のちびっこも椅子をパンパン触ってみたり・・・、ただ水をパシャパシャたいたいたり、お友だちの遊びを観察したり・・・、どの子も「自分のやってみたい!」を体で表現しています。

そして、その中で! 出ました!!! 【けんか】です。ホースやじょうろなどをめぐって取り合いが始まったのです。これね、「やりたい!ほしい!」から取り合うのです。本当にやりたいことがあるから譲れないんです。取り合うと必ず「とれた子」「とられた子」両方の立場がそこにできます。取られた子は泣くかもしれませんね。取り返しに行くかもしれません。お母さんのところに行って悲しい気持ちを分かってほしいとくるかもしれません。取った子は泣く姿にいろいろな気持ちを感じるかもしれません。気にせず遊んでいても、十分に楽しんだあとはどうするのでしょうか?

少し長い目で見守って、取り合ったその後の「気持ち」や「行動」に目や耳を傾けていけたらいいですね・・・親同士の気持ちも話しながらね! でもこれは危ない!!と感じたら、棒などを手から離してあげたり、ひろーい草原に目を向けられるように声をかけたりもしながら・・・ですね。

もちろん、みんなが水遊びをやりたい・・・わけではないので、森の中を探索したり、泥遊びをしたり、お弁当を食べたり・・・水分を取りながら心地よく過ごしていきましょう

ゆりちゃんの子育て奮闘記 (番外編)

こどもの頃どんな遊びをしていましたか?

時間を忘れて遊ぶ。意味のないようなことをして遊ぶ。その瞬間やりたいことをして遊ぶ。その時間はかけがいのない時間です。子どもは遊ぶことで「自らの力で育って」いきます。

じゃあ、その「遊び」ってどんなのだろう・・・。あなたはどんなことをして遊びましたか? の質問に『ありを瓶にたくさん集めた』『ホッピング』『ゴム飛び』『ローラースケートで光 GENJI ごっこ』。お父さんからは『ゲームや釣り』など・・・いろいろ出ました!

その自由に遊ぶことのできる時間、どんな顔をしていたのかな・・・。子どもたちはどんな顔でどんな瞳で遊んでいるのかな・・・。そんな遊びの時間を、すべての子どもたちが安心して持つためにわたしたち大人ができることを一緒に考えていきましょう。

主催 緑児童館

名古屋市緑区相原郷 2-701 Tel/Fax : 052 - 623 - 9656

<http://www2.odn.ne.jp/midorijidoukan/>

E-mail : m-jidoukan@smile.odn.ne.jp